

平成28年4月28日

熊本地震における本学の主な対応について

熊本地震で被災された方にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧に向け、本学もできる限りの支援を行う所存です。

平成28年4月14日以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

記

1. 医療活動支援関係

平成28年4月16日（土）から4月20日（水）まで、広島大学病院から、DMAT（災害派遣医療チーム）2班9人を派遣しました。

2. 学生支援関係

- ① 学生に対する安否確認を実施しました。（4月18日（月））
- ② 被災された世帯の学生に対し、経済的な相談に応じる窓口を設置しました。（4月18日（月））
- ③ 被災された世帯の学生に対し、平成28年度前期分の授業料免除申請期間の延長を行います。（4月27日（水））
- ④ 被災された世帯の学生に対し、学生宿舎等（東広島市）への入居希望や、既入居者の方の寄宿料免除についての相談窓口を設置しました。（4月27日（水））
- ⑤ 実験・研究施設に損害を受け、研究活動に支障が生じている学生を受入れ、被災研究施設の体制が整うまでの間、実験環境の提供を行います。研究活動以外にも、履修に関する支援も行います。（4月27日（水））
- ⑥ 被災された本学志願者に対し、入学検定料免除の特例措置を実施します。（4月27日（水））

3. 義援金募金活動

平成28年4月15日（金）から4月22日（金）までに集まった募金を、日本赤十字社等へ寄託する予定です。

今後も継続して募金活動を行っていきます。

4. その他

- ① 4月18日（月）熊本地区地震対策会議を立ち上げ、以下について決定しました。
 - ・ 本学で備蓄している食料の提供
 - ・ 学生の受け入れについて、学部レベルでホットラインを作り、速やかに対応できる体制整備

② 熊本県熊本地方で本学の教員が次のとおり現地調査等を実施していません。

- 文学研究科の^{ごとうひであき}後藤秀昭准教授と教育学研究科の^{くまはらやすひろ}熊原康博准教授が、4月15日（金）から17日（日）まで現地調査を行い、18日（月）に記者説明会を実施しました。なお、24日（日）から再度現地調査を実施しています。
- 熊本県阿蘇郡^{にしはらむら}西原村で、小型無人機ドローンを活用し、被害状況を撮影しました。（4月19日（火））
- 文学研究科の^{おくむらこうじ}奥村晃史教授が、4月18日（月）から20日（水）まで、現地調査を実施しました。
- 総合科学研究科^{かいほりまさひろ}海堀正博教授が4月22日（金）から24日（日）まで、現地調査を実施しました。

③ 広島大学図書館は、被災された地域の大学に所属する学生および教職員で、緊急帰省など、震災のため、広島県に滞在せざるを得なくなった方を対象に、本学学生と同等のサービスを利用できるようにしました。（4月20日（水））

④ ご自宅での居住が困難となった本学学生のご家族の方々を対象に、本学職員宿舎の無償提供に関する相談窓口を設置しました。（4月27日（水））

【お問い合わせ先】

財務・総務室財務・総務部総務グループ リスク担当主幹 片岡 伸夫 TEL:082-424-4419 FAX:082-424-6020
--